
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2017年第16週
(4月17日～4月23日)

- * 2017年4月26日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「結核低蔓延国への新目標」も掲載しています。

平成29(2017)年4月27日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2017年16週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		13週	14週	15週	16週	年累計	16週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	58	65	63	53	990	349	6,490
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9) ^{*3}							
三類	コレラ							
	細菌性赤痢	1	1	1	1	14	2	48
	腸管出血性大腸菌感染症	6	2	4	5	32	21	262
	腸チフス					1	3	11
	パラチフス	1				2		4
四類	E型肝炎		1		2	19	4	116
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1	1	2	4	32	10	84
	エキノコックス症							10
	黄熱							
	オウム病							4
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	ジカウイルス感染症 ^{*4}							1
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*5}							2
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							1
つつが虫病					2	1	41	
デング熱	1	3	1		16		61	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

*3 2013年より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

*4 2016年2月15日より新たに追加指定された。

*5 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		13週	14週	15週	16週	年累計	16週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							7
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症					1		1
	マラリア	1				4		10
	野兔病							
	ライム病							1
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	4	2	1	1	36	18	355
レプトスピラ症					1		2	
ロッキー山紅斑熱								
2017/4/26集計								

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 53件 患者および死亡後診断 40件(肺結核 32件、その他の結核 7件、肺結核及びその他の結核 1件)、無症状病原体保有者 12件、疑似症 1件、年齢は10代 1件、20代 3件、30代 6件、40代 3件、50代 6件、60代 12件、70代 13件、80代 4件、90歳以上 5件、推定感染地は国内 50件、ネパール 1件、フィリピン 1件、国外(渡航先不明) 1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件 患者、菌種はソンネ、年齢は50代、推定感染地はタイ、推定感染経路は不明であった。

腸管出血性大腸菌感染症 5件 患者 4件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO26 VT1 2件、O26 VT型不明 1件、O157 VT1・VT2 1件、血清型不明VT1 1件、年齢は10代 1件、20代 2件、50代 2件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は経口感染 3件、経口感染又は接触感染 1件、不明 1件であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 2件 患者 2件、年齢は40代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 1件、韓国 1件、推定感染経路は経口感染 2件であった。

A型肝炎 4件 患者 4件、年齢は10代 1件、30代 1件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 3件、中国又は香港 1件、推定感染経路は経口感染 3件、不明 1件であった。

レジオネラ症 1件 病型は肺炎型、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は水系感染であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2017年16週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		13週	14週	15週	16週	年累計	16週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	6	2	5	2	69	11	324
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		3		2	20	2	83
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6	4	5	5	58	16	426
	急性脳炎 *1	1		1	3	25	10	238
	クリプトスポリジウム症							2
	クロイツフェルト・ヤコブ病					7	3	53
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	2	3		25	7	187
	後天性免疫不全症候群	8	11	10	11	142	12	392
	ジアルジア症		1	1	1	9		23
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3		1		14	2	118
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1				1	1	9
	侵襲性肺炎球菌感染症	16	8	10	10	162	48	1,203
	水痘(入院例に限る)	1	2		2	13	6	73
	先天性風しん症候群							
	梅毒	23	32	34	34	456	60	1,404
	播種性クリプトコックス症			2		7	2	48
	破傷風					1	1	17
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	4	1	28
	風しん			1	1	4	4	26
麻しん	4		3		16	7	148	
薬剤耐性アシネトバクター感染症				1	1	2	11	

2017/4/26集計

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 病型は腸管 2件、年齢は50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は同性間性的接触 1件、不明 1件であった。

ウイルス性肝炎 2件 B型 1件、C型 1件、年齢は30代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 1件、中国 1件、推定感染経路はB型は異性間性的接触、C型は同性間性的接触であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 5件 患者 5件、病原菌はエンテロバクター・アエロゲネス 1件、エンテロバクター・クロアカ 2件、シトロバクター・フロインディ 1件、肺炎桿菌 1件、年齢は50代 1件、60代 2件、80代 2件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は医療器具関連感染(クモ膜下ポート) 1件、院内感染又は手術部位感染 1件、以前からの保菌又は医療器具関連感染(尿路カテーテル) 1件、不明 2件、90日以内の海外渡航歴は無し5件であった。

急性脳炎 3件 病原体はインフルエンザウイルス 1件、ヒトメタニューモウイルス 1件、ロタウイルス 1件、年齢は10歳未満 3件(うち5歳未満 1件)、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、接触感染 1件であった。

後天性免疫不全症候群 11件 AIDS 5件、無症候キャリア 5件、その他 1件、AIDS患者の年齢は30代 2件、50代 1件、60代 2件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 2件、30代 3件、50代 1件、推定感染地は国内 9件、国内又はタイ又は台湾 1件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 11件(同性間 7件、異性間 2件、両性間 2件)であった。

ジアルジア症 1件 年齢は30代、推定感染地はジンバブエ、推定感染経路は不明であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 10件 血清型はすべて検査未実施、年齢は5歳未満 3件、30代 1件、40代 1件、60代 2件、80代 3件、推定感染地は国内 10件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 5件、不明 5件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価4回接種済み 1件、13価3回接種済み 1件、10価3回接種済み 1件、無し 5件、不明 2件であった。

水痘(入院例) 2件 臨床診断例 2件、年齢は20代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 1件、水痘ワクチン接種歴は無し 1件、不明 1件であった。50代の1件は基礎疾患として悪性リンパ腫であった。

梅毒 34件 患者 25件(早期顕症梅毒Ⅰ期 12件、早期顕症梅毒Ⅱ期 12件、晩期顕症梅毒 1件)、無症候梅毒 9件、年齢は20代 10件、30代 8件、40代 8件、50代 4件、60代 1件、70代 3件、推定感染地は国内 33件、国内又は国外(渡航先不明) 1件、推定感染経路は性的接触 30件(同性間 9件、異性間 18件、性別不明 3件)、不明 4件であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 遺伝子型は不明、年齢は90歳以上、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

風しん 1件 臨床診断例、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、風しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症 1件 患者、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は手術部位感染、90日以内の海外渡航歴は無しであった。

※ 第14週該当分として〔五類〕梅毒 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2017年16週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2017年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		13週	14週	15週	16週		
小児科	RSウイルス感染症	34 0.13	27 0.10	62 0.24	72 0.27	262	264
	咽頭結膜熱	56 0.21	60 0.23	56 0.22	82 0.31		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	494 1.88	456 1.75	559 2.15	663 2.53		
	感染性胃腸炎	1,821 6.92	1,882 7.24	2,093 8.05	2,226 8.50		
	水痘	108 0.41	83 0.32	89 0.34	84 0.32		
	手足口病	23 0.09	20 0.08	32 0.12	33 0.13		
	伝染性紅斑	25 0.10	30 0.12	27 0.10	33 0.13		
	突発性発しん	119 0.45	135 0.52	109 0.42	174 0.66		
	百日咳	2 0.01	2 0.01	1 0.00	2 0.01		
	ヘルパンギーナ	1 0.00	3 0.01	5 0.02	3 0.01		
	流行性耳下腺炎	66 0.25	73 0.28	54 0.21	41 0.16		
	川崎病 *1	9 0.03	1 0.00	2 0.01	4 0.02		
	不明発しん症 *1	20 0.08	13 0.05	9 0.03	16 0.06		
	インフル エンザ	インフルエンザ *2	2,635 6.32	2,114 5.12	1,716 4.17		
眼科	急性出血性結膜炎					39	39
	流行性角結膜炎	11 0.28	15 0.38	15 0.38	23 0.59		
基幹	細菌性髄膜炎 *3	1 0.04	1 0.04		1 0.04	25	25
	無菌性髄膜炎	2 0.08		1 0.04	2 0.08		
	マイコプラズマ肺炎	6 0.24	2 0.08	1 0.04	3 0.12		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1 0.04	1 0.04	3 0.12	2 0.08		
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) *4	13 0.52	16 0.64	10 0.40	16 0.64		
	インフルエンザ入院	14 0.56	9 0.36	6 0.24	9 0.36		
						2017/4/26集計	

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ 感染性胃腸炎定点当たりの受診者数が増加傾向にあり、今後の動向に注意が必要である。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2017年16週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	14			20				5			
6～11か月	24	5	8	203	5	3	1	56			1
1歳	24	39	43	328	7	15	1	92		1	
2歳	8	12	42	263	5	7	3	13		1	4
3歳	2	8	104	244	8	3	3	5			3
4歳		5	75	214	15	1	8	2			7
5歳		2	103	184	20		5	1			1
6歳		2	75	134	7	1	2				9
7歳		1	45	116	4	1	3				3
8歳		1	39	80	3	1	3				2
9歳		3	32	56	1						2
10～14歳		2	61	157	4	1	3				5
15～19歳			3	27	1						2
20～29歳		2	33	200	4		1		2	1	2
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	72	82	663	2,226	84	33	33	174	2	3	41
先週比	10	26	104	133	-5	1	6	65	1	-2	-13

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月			4			1	1			1	1
6～11か月		1	16							2	
1歳	2	4	69							2	2
2歳	2	4	78		1			1		1	1
3歳		1	114							1	
4歳		3	120					1			
5歳		1	133								
6歳			164		2					3	
7歳		1	163							5	
8歳		1	122							1	
9歳			92								
10～14歳			265								
15～19歳			119								
20～29歳			86		2			1			
30～39歳			118		10						
40～49歳			98		4						1
50～59歳			52		2				1		
60～69歳			34		2				1		2
70～79歳			18				1				1
80歳以上			7								1
合計	4	16	1,872		23	1	2	3	2	16	9
先週比	2	7	156		8	1	1	2	-1	6	3

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2017年16週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田			0.67		0.33			0.33			
中央区	0.67		3.00	26.00		1.67		1.00			
みなと		1.00	2.00	5.67	0.17	0.17		1.33			0.17
新宿区	0.88		3.50	8.25	0.13		0.13	0.13			
文京			1.75	2.25		0.50		0.75			
台東	0.25		4.50	19.25	1.00			1.00			
墨田区	0.40	0.20	1.00	5.80		0.20		1.00			0.20
江東区	0.22	0.11	3.11	14.44	0.11		0.11	0.78			
品川区	0.38	0.25	2.00	6.50	1.25	0.38		0.75			0.25
目黒区	0.20	0.20	4.00	8.40		0.60	0.20	0.60			0.20
大田区	0.25	0.83	4.08	10.92	0.75	0.08	0.08	0.58	0.17	0.08	0.17
世田谷	0.31	0.63	2.56	7.38	0.25	0.19	0.31	0.38			0.19
渋谷区			1.00	2.75	0.25	0.25	0.50	1.00			
中野区	0.17	0.67	1.67	10.50	0.17		0.17	0.50			0.50
杉並		0.45	0.91	6.18	0.09	0.18	0.36	0.45			0.18
池袋	0.75	0.75	0.75	3.50			0.25	0.25			
北区		0.43	0.86	5.57	0.29			1.43			0.14
荒川区	0.25	0.75	4.50	11.75	0.25			0.25			
板橋区	0.40		2.60	3.00	0.50		0.10	0.60			0.10
練馬区	0.15	0.08	4.85	7.08	1.23			0.38			0.15
足立		0.46	1.69	11.08			0.15	0.92			0.08
葛飾区		0.25	1.75	10.13		0.25	0.38	0.75			
江戸川	0.33	0.25	1.83	10.08	0.17		0.17	0.92			0.25
八王子市	0.27	0.09	3.55	17.91	0.36	0.09		0.64			0.09
町田市	0.25		3.00	12.38	0.63		0.13	0.25			0.75
西多摩		0.25	0.88	4.88	0.38			0.50			
南多摩		0.11	1.11	7.67			0.56	0.11		0.11	0.22
多摩立川	0.43	0.21	3.00	4.93	0.14	0.14		0.64			0.21
多摩府中	0.33	0.14	1.81	7.24	0.14	0.29	0.10	0.76		0.05	0.24
多摩小平	0.87	0.73	4.40	8.33	0.47			1.13			0.07
島しょ			4.00								
東京都	0.27	0.31	2.53	8.50	0.32	0.13	0.13	0.66	0.01	0.01	0.16

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			3.50								
中央区		0.33	4.00		1.00						
みなと			3.56								
新宿区	0.13		2.00				0.50	0.50		1.50	
文京		0.75	3.00		5.00						2.00
台東			1.40								
墨田区			4.25					1.00			1.00
江東区		0.11	3.86								
品川区			2.92								
目黒区		0.20	3.50								
大田区	0.08	0.08	2.63								
世田谷		0.13	4.56			0.50				0.50	0.50
渋谷区			5.14							4.00	
中野区			7.20								
杉並	0.09		6.12								
池袋			1.71		1.00				1.00		
北区			3.64								
荒川区			9.00		2.00						
板橋区		0.10	2.56		0.50					1.00	1.00
練馬区			3.67								
足立		0.08	4.60		1.00						
葛飾区		0.13	7.15		3.00		1.00	1.00		3.00	2.00
江戸川	0.08		3.32		0.50						
八王子市			5.11		0.50						
町田市			7.31								
西多摩			2.07								
南多摩			5.64								
多摩立川		0.07	3.95								
多摩府中		0.05	6.72		1.00				0.33	1.33	0.33
多摩小平		0.13	6.65		1.50						0.50
島しょ											
東京都	0.02	0.06	4.53		0.59	0.04	0.08	0.12	0.08	0.64	0.36

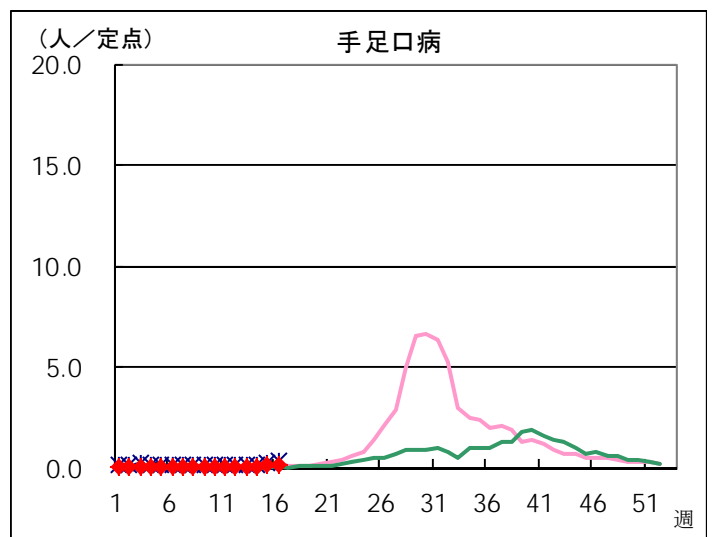
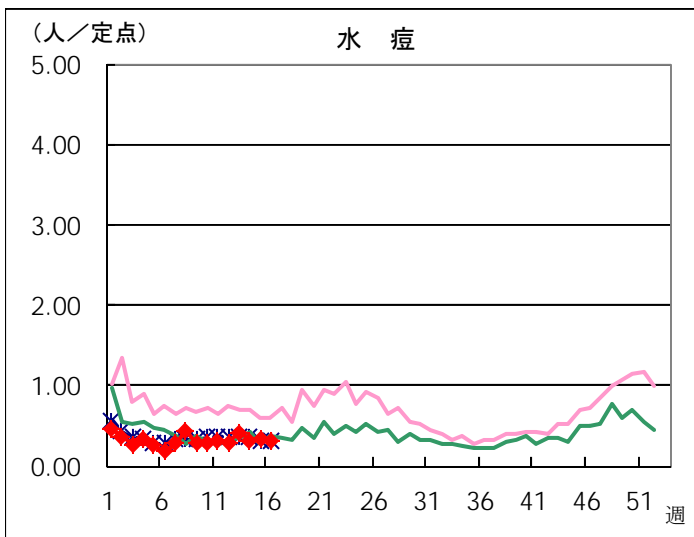
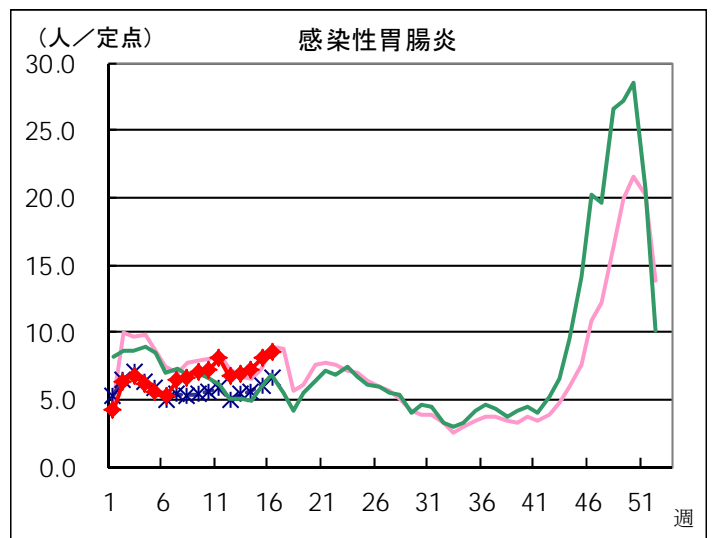
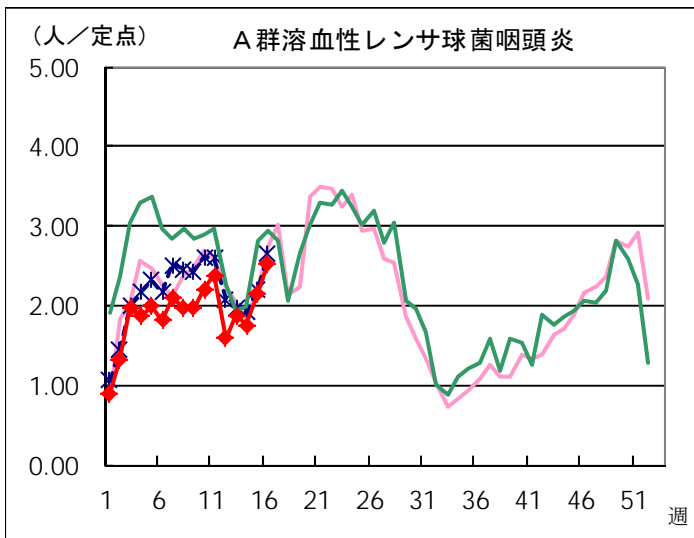
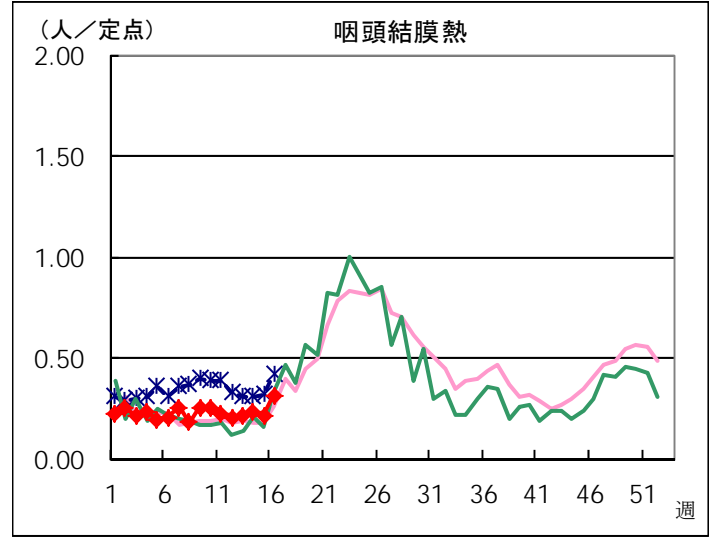
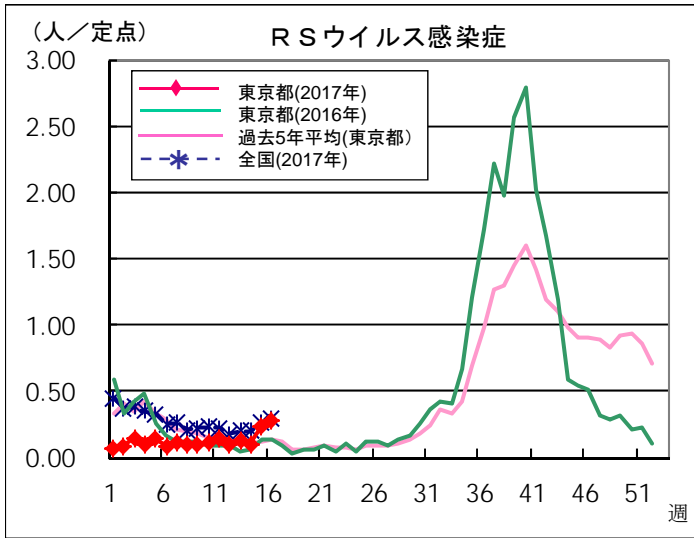
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2017年16週

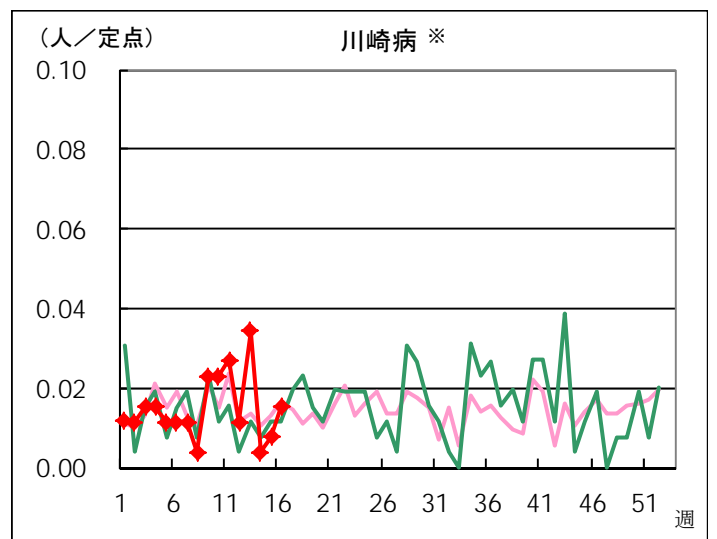
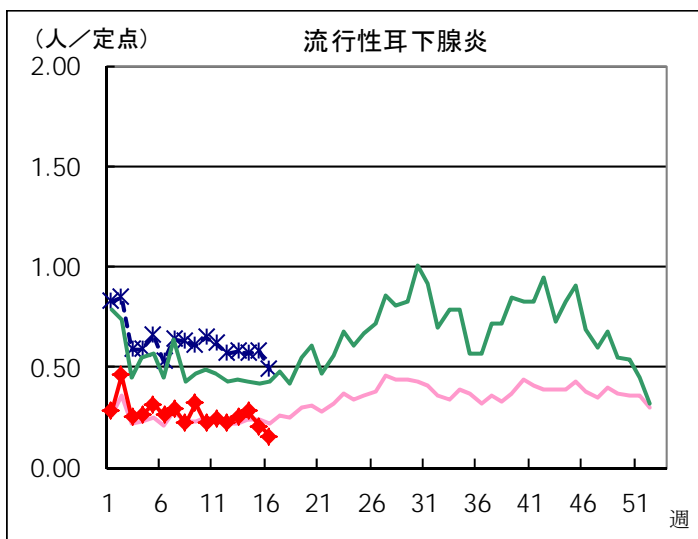
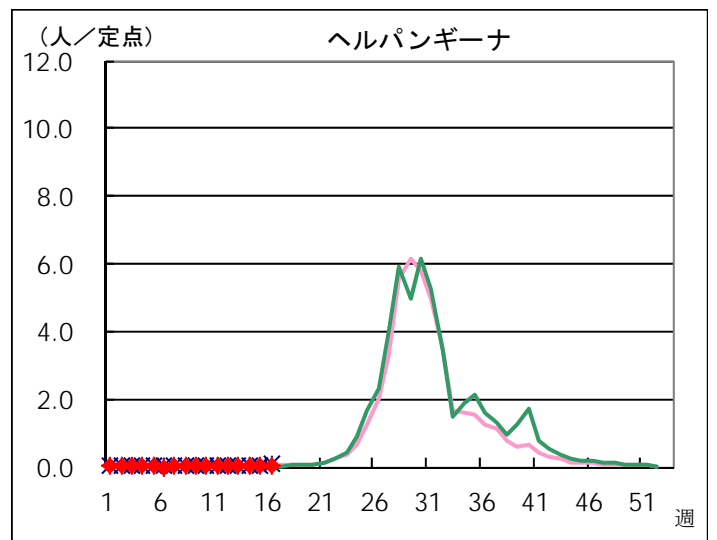
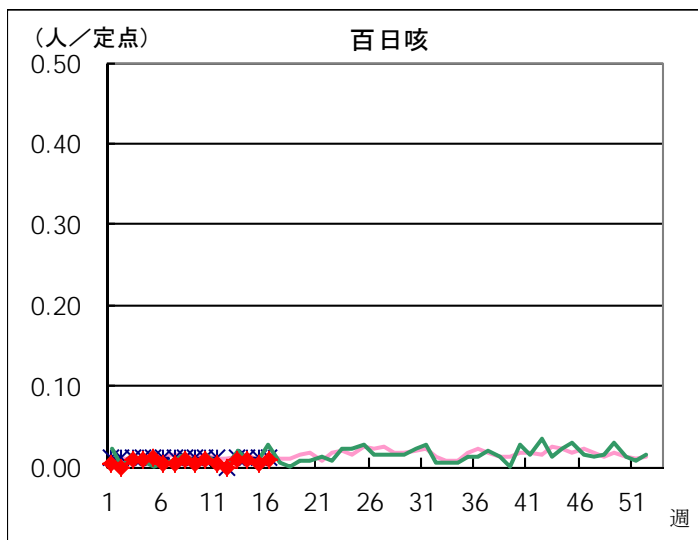
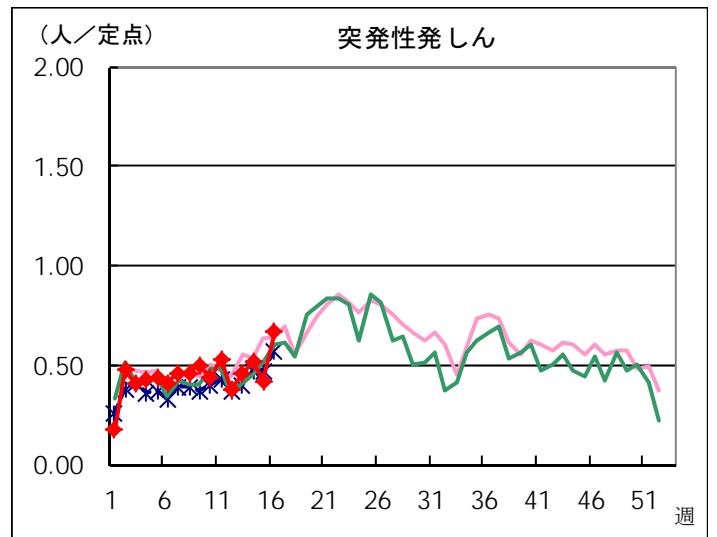
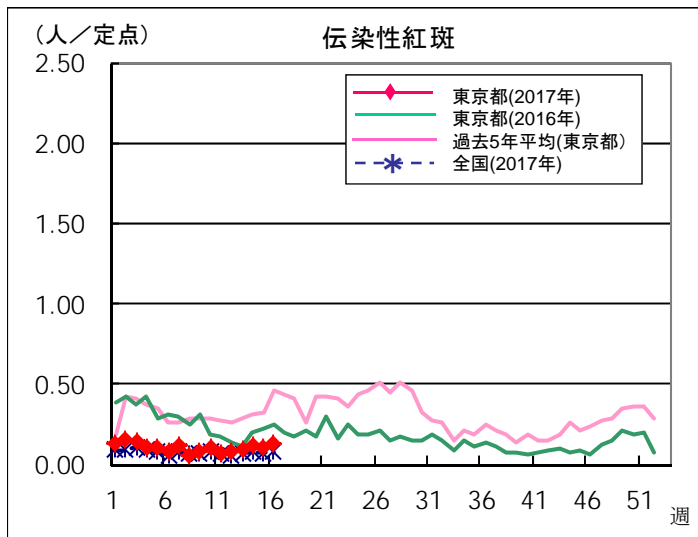
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田			2		1			1			
中央区	2		9	78		5		3			
みなと		6	12	34	1	1		8			1
新宿区	7		28	66	1		1	1			
文京			7	9		2		3			
台東	1		18	77	4			4			
墨田区	2	1	5	29		1		5			1
江東区	2	1	28	130	1		1	7			
品川区	3	2	16	52	10	3		6			2
目黒区	1	1	20	42		3	1	3			1
大田区	3	10	49	131	9	1	1	7	2	1	2
世田谷	5	10	41	118	4	3	5	6			3
渋谷区			4	11	1	1	2	4			
中野区	1	4	10	63	1		1	3			3
杉並		5	10	68	1	2	4	5			2
池袋	3	3	3	14			1	1			
北区		3	6	39	2			10			1
荒川区	1	3	18	47	1			1			
板橋区	4		26	30	5		1	6			1
練馬区	2	1	63	92	16			5			2
足立		6	22	144			2	12			1
葛飾区		2	14	81		2	3	6			
江戸川	4	3	22	121	2		2	11			3
八王子市	3	1	39	197	4	1		7			1
町田市	2		24	99	5		1	2			6
西多摩		2	7	39	3			4			
南多摩		1	10	69			5	1		1	2
多摩立川	6	3	42	69	2	2		9			3
多摩府中	7	3	38	152	3	6	2	16		1	5
多摩小平	13	11	66	125	7			17			1
島しょ			4								
東京都合計	72	82	663	2,226	84	33	33	174	2	3	41

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			14								
中央区		1	20		1						
みなと			32								
新宿区	1		24				1	1		3	
文京		3	21		5						2
台東			7								
墨田区			34					1			1
江東区		1	54								
品川区			35								
目黒区		1	28								
大田区	1	1	50								
世田谷		2	114			1				1	1
渋谷区			36							4	
中野区			72								
杉並	1		104								
池袋			12		1				1		
北区			40								
荒川区			63		2						
板橋区		1	41		1					1	1
練馬区			77								
足立		1	92		2						
葛飾区		1	93		3		1	1		3	2
江戸川	1		63		1						
八王子市			92		1						
町田市			95								
西多摩			29								
南多摩			79								
多摩立川		1	83								
多摩府中		1	215		3				1	4	1
多摩小平		2	153		3						1
島しょ											
東京都合計	4	16	1,872		23	1	2	3	2	16	9

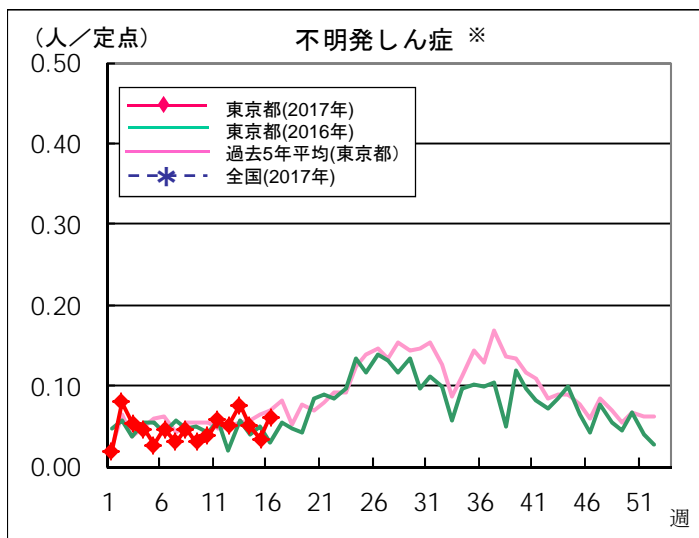
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2017年16週 現在)

◆ 小児科定点



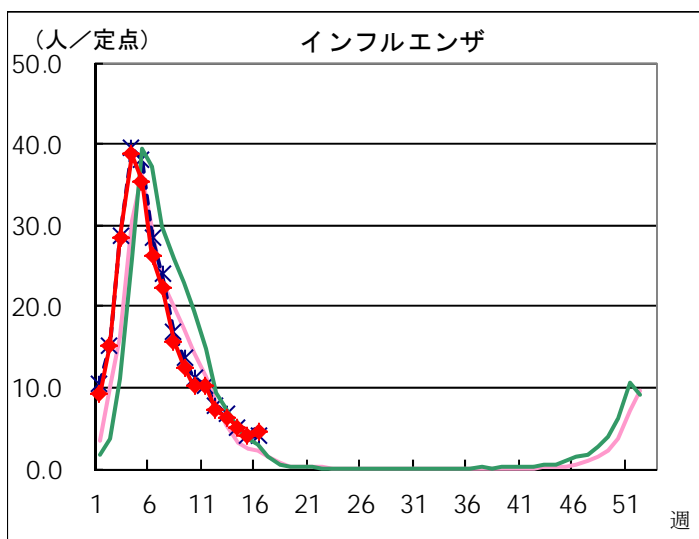


※ 東京都独自対象疾患

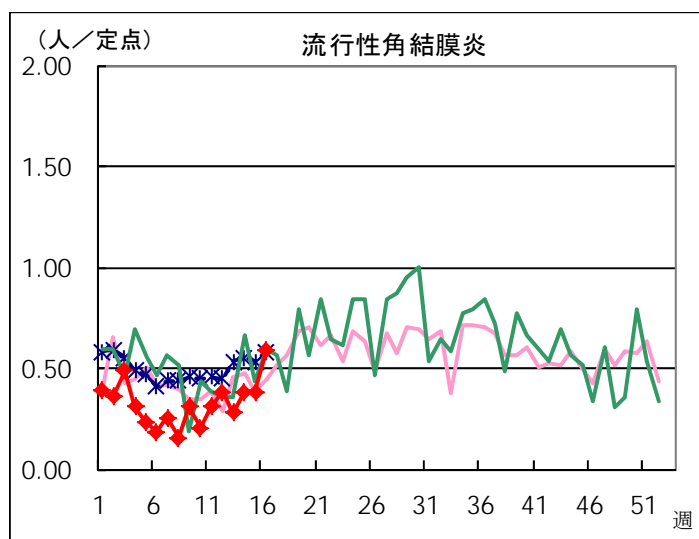
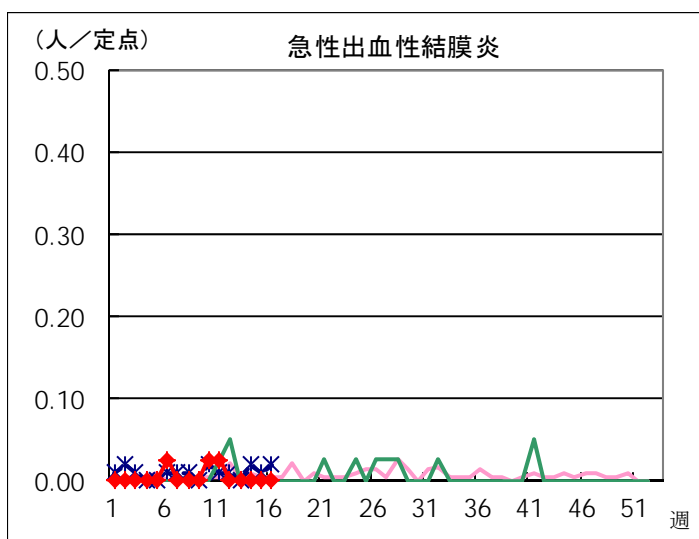


※ 東京都独自対象疾患

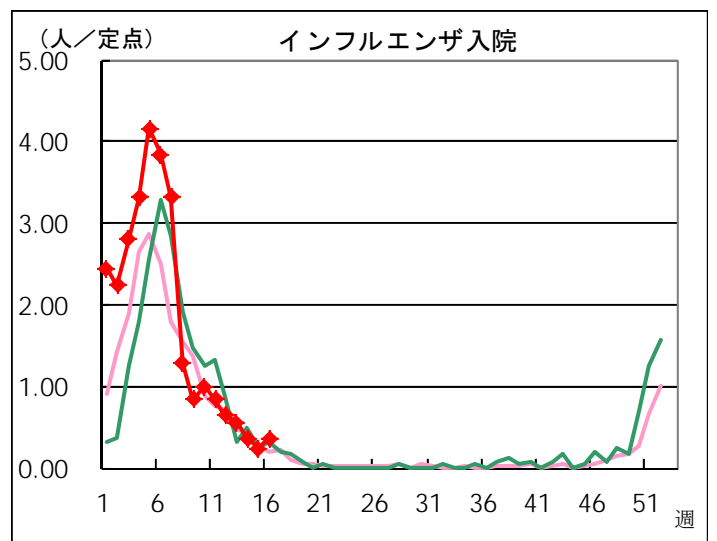
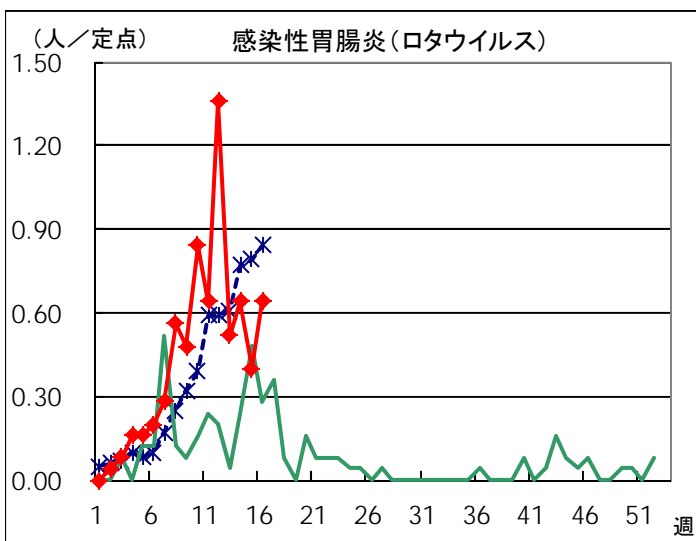
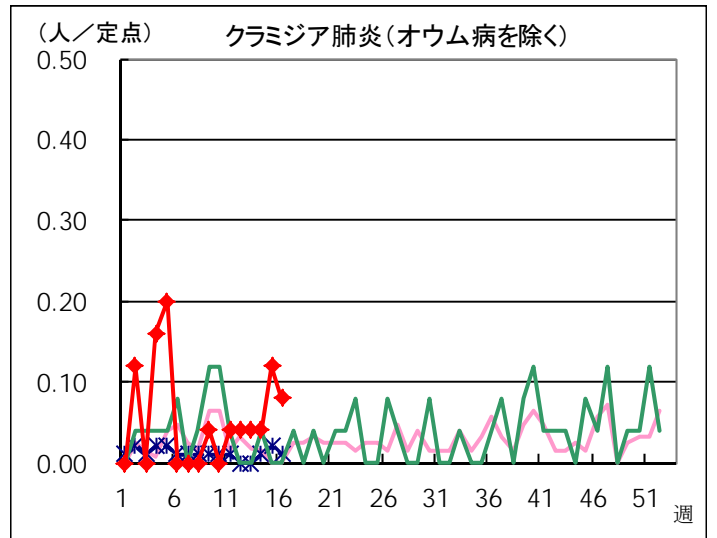
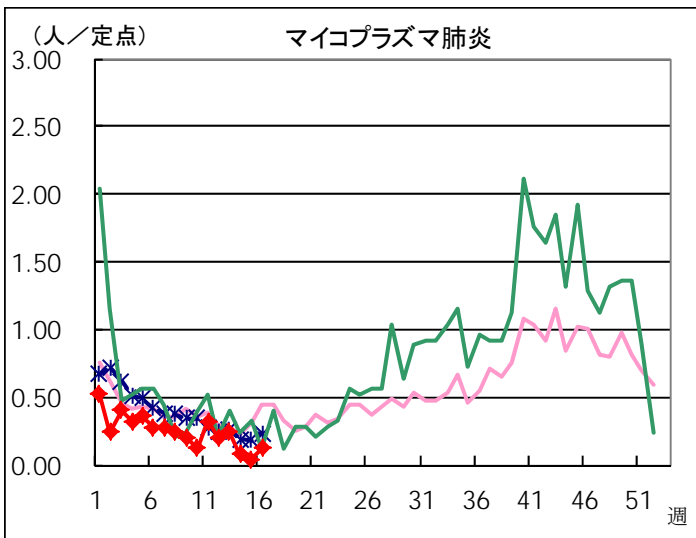
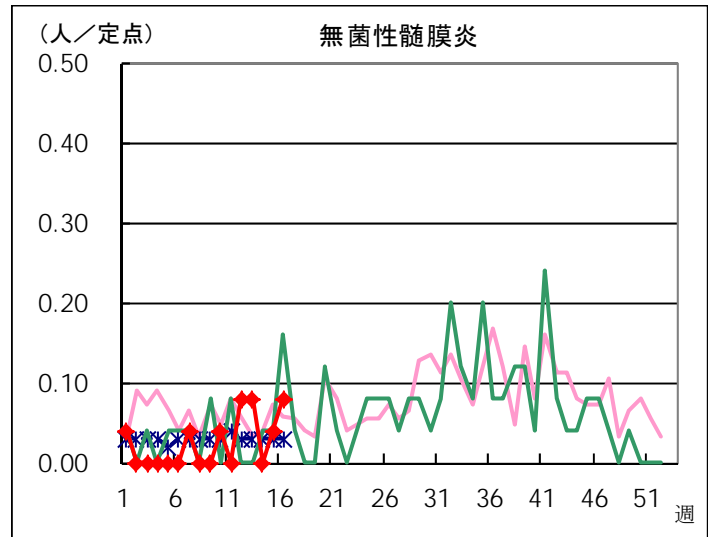
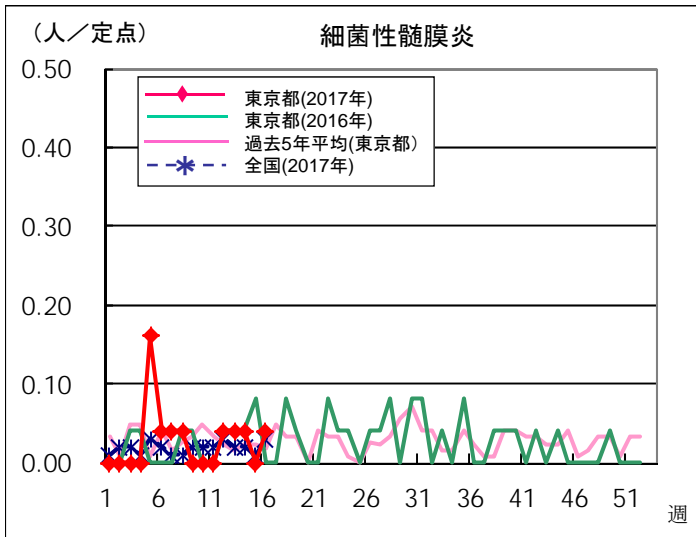
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
3/24	感染性胃腸炎	5	直腸拭い液	A群ロタウイルス
3/29	不明発しん症	7	咽頭拭い液	ライノウイルス
4/5	流行性耳下腺炎	6	咽頭拭い液	EBウイルス
4/6	感染性胃腸炎	2	便	A群ロタウイルス
4/6	感染性胃腸炎	2	便	A群ロタウイルス
4/6	感染性胃腸炎	6	直腸拭い液	A群ロタウイルス

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2017年14週			7	6
2016-2017年 シーズン累計*	5		293	62

* 2016-2017年シーズンの開始は第36週(2016年9月5日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2017年							
	07週	08週	09週	10週	11週	12週	13週	14週
アデノウイルス	1	3	2		2			
コクサッキーウイルスA群	1							
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス				1				
ライノウイルス		1	2		1		1	1
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス			1			1	1	
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1		1	2	1			
EBウイルス		1			1			1
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス	2		1	1				
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)				1				
風疹ウイルス								
ヒトパルボウイルスB19			1					
RSウイルス	1						1	
ノロウイルス		2		1				
ロタウイルス	1		5	3	4	1	4	4
サポウイルス	1							
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型	12	15	14	12	5	4	8	7
インフルエンザウイルスB型	10	3	5	4	7	5	8	6
インフルエンザウイルスAH1pdm09							1	
その他のウイルス								
A群溶血性レンサ球菌T-1型					1			
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型					2			
A群溶血性レンサ球菌T-12型		1	2		2			
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			1					
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2017年07週～2017年14週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	2	3	10	34	4	2	2	4	1		12		18	129	17		1		6		
アデノウイルス		1												2	4		1				
コクサッキーウイルスA群						1															
コクサッキーウイルスB群																					
エコーウイルス																					
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス														1							
ライノウイルス													1	2	3						
ヒトメタニューモウイルス																					
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス					3																
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								3					2								
EBウイルス											3										
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス											4										
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)														1							
風しんウイルス																					
ヒトパルボウイルスB19							1														
RSウイルス	2																				
ノロウイルス				3																	
ロタウイルス				22																	
サボウイルス				1																	
インフルエンザウイルスAH1亜型																					
インフルエンザウイルスAH3亜型														77							
インフルエンザウイルスB型														46	2						
インフルエンザウイルスAH1pdm09														1							
その他のウイルス																					
A群溶血性レンサ球菌T-1型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T-3型																					
A群溶血性レンサ球菌T-4型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T-12型			5																		
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			1																		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																					
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																					
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																					
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

<感染症豆知識>

結核低蔓延国への新目標

結核症は日本において依然として最大の慢性感染症で、国際的にみればその罹患率は欧米先進国の4~5倍と高く、結核中蔓延国と位置づけられてきた。厚生労働省は、2011年の「結核に関する特定感染症予防指針」において、2015年までに結核罹患率を人口10万人に対して15人以下に減少させるという目標を設定してきたが、2015年報で罹患率が14.4人となったことから目標達成を公表した。同時に、2020年までに国際的な結核低蔓延国の指標である人口10万対10人以下にするという新目標を掲げたのである。目標を達成すれば欧米先進国に追いつくことを意味するが、その実現は決して容易ではない。日本の結核罹患率は毎年順調に低下しているものの、その減少率は年4%程度と鈍化しているので、同じ減少率が続けば2020年の推定罹患率は11.5人に止まるのである。したがって新目標の達成には、新たな結核対策の実行が不可欠である。

具体的には①潜在性結核感染治療の量的・質的增加、②外国生まれの結核患者の増加に対する積極的対応、③医学的ハイリスク者対策、④社会的ハイリスク者対策、⑤医療従事者の感染対策強化などが考えられる。このうち特に実効性の高いのは②だ。大都市の日本語学校では集団感染事件が頻発し、既に日本の20歳代の結核患者の50%以上が外国生まれで占められている。これは結核高蔓延国から就労・留学してくる人たちに対して、胸部X線健診などの結核対策が用意されないためである。そもそも結核先進国では、結核患者の大半を外国生まれが占めているので、入国時審査に胸部X線が行われているのだ。日本もこれに倣った対応が、喫緊の課題である。

(文責 結核予防会複十字病院副院長 尾形英雄)